

# 授 業 改 善 の ヒ ン ト 小 学 5 年 国 語

## 1 県全体の状況

(1) 正答率 60%以上の問題の割合 71.0% (平成17年度 67.7%)

問題数	正答率 60%以上		正答率 40%以上 60%未満		正答率 40%未満	
31問中	22問	71.0%	8問	25.8%	1問	3.2%

(2) 観点別正答率

No	観点別正答率	正答率	No	観点別正答率	正答率
1	話す・聞く能力	78.2%	3	読む能力	61.9%
2	書く能力	73.3%	4	言語についての知識・理解・技能	76.8%

(3) 問題内容別正答率

No	問題内容別正答率	正答率	No	問題内容別正答率	正答率
1	聞き取り	78.2%	6	文の組み立て	71.5%
2	漢字の読み	91.6%	7	ローマ字の読み書き	59.6%
3	漢字の書き	77.7%	8	文学的な文章(物語)	67.7%
4	辞典の使い方	66.1%	9	説明的な文章(説明文)	56.0%
5	語句	85.5%	10	作文	73.3%

## 2 定着が良好な領域や単元等

(1) 「話すこと・聞くこと」

① 「話し合いの内容を聞き取る」問題の正答率は97.4%である。 1 (1)

(2) 「書くこと」

① 「書く必要のある事柄を選択する」問題の正答率は94.2%である。 6 (1)

(3) 「読むこと」

① レギュラーを発表される時のみんなの気持ちや、川がぼやけて見えるぼくの気持ちなど、「心情や場面の様子を読み取る」問題の正答率はそれぞれ90.8%、87.9%である。 4 (2) (4)

(4) 「言語事項」

① 「漢字の読み」の問題の正答率は「べんり」97.9%、「かがみ」97.5%である。 2 (1) ①②

## 3 指導法の工夫改善が必要な領域や単元等

(1) 「話すこと・聞くこと」

① 「話し方の工夫に着目して聞き取る」問題の正答率は55.5%である。 1 (3)

(2) 「書くこと」

① 「提示された字数や2段落構成を意識して書く」問題の正答率は57.7%である。 6 (2) ②

(3) 「読むこと」

① 「叙述をもとに場面の移り変わりを想像しながら読む」問題の正答率は32.3%である。 4 (1)

② 「意味段落に分ける」問題の正答率は44.8%である。 5 (1)

③ 「文章の要旨をとらえる」問題の正答率は47.8%である。 5 (5)

④ 「とらえた内容を表現する」問題の正答率は48.0%である。 5 (3)

⑤ 記述式問題である 4 (1)、5 (3) の無解答率は、どちらも23.2%である。

(4) 言語事項

① 「すみれ」など「ローマ字での書き」の問題の正答率は58.2%である。 3 (9)

**1 聞くこと**

話し手の意図を考えるとともに、表現の仕方にも着目させましょう。

**1 問題の概要**

<p>① (3) 「次の文のうち、山田さんの話し方のくふうとしてあてはまることはどれですか。」（話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。）</p> <p>【誤答例】</p> <p>1 同じことを繰り返し言って、自分の案の良さを強調している。(1.8%)</p> <p>2 前の人の案に対する考えを話したあとで、自分の案を発表している。(37.1%)</p> <p>4 案をいろいろ出してから、いちばん良いと思う案を最後に決めている。(4.9%)</p> <p>上記以外の誤答 (0.1%) , 無解答 (0.5%)</p>	正答率 55.5%
--	-----------

**2 正答率が低い要因**

- (1) 話の内容を聞き取ることに集中してしまい、どのような話し方をしているのかまで十分に意識することができなかつたのではないかと考えられます。
- (2) 昨年度の類似問題の正答率は 84.0%であり、今回は 28.5%も低下しています。登場人物が多かつたことから、だれがどのような話し方をしていたかまでは聞き取るができなかつたのではないかと考えられます。

**3 指導法改善のヒント**

- (1) 内容を聞き取るだけでなく、話合いの全体的な流れをつかみながら聞くように心がけさせましょう。そのためには、「だれが」「何を」話したのかを聞き取るだけでなく、「どうして」そのような意見が出てきたのかに注意して聞くことを大切にしましょう。
- (2) 話す順序や具体例の挙げ方などに、話し手の工夫が表れやすいものです。「なぜかというところから」や「まず」「次に」「たとえば」などの言葉に着目しながら聞くように事前に視点を与え、「どんな順序で話していましたか。」「話し方には、どんな工夫がありましたか。」などと問いかけましょう。
- (3) 5W1Hに注意し、メモを取りながら聞く習慣を身に付けさせましょう。
- ・ 友達の発表を聞いて自分の考えとの共通点や相違点を聞き分けながら、ノートにメモを取らせるなど、メモの取り方の指導を工夫しましょう。
  - ・ 「朝の会」や「帰りの会」等での連絡や友達のスピーチ、担任の先生の話などの場面でメモを取らせるなど、授業だけでなく日常の生活場面でも意識的に取り組ませましょう。

**2 書くこと**

自分の考えが明確になるように、段落のまとまりを意識させながら書かせましょう。

**1 問題の概要**

<p>⑥ (2) 「<input type="text"/> に書いた係や委員会についてしょうかいする文章を書きましょう。そのとき、次の点に注意しましょう。」</p> <p>① ア 7行以上、9行以内(121字以上、180字以内)で書きましょう。</p> <p>イ 二つの段落に分けて書きましょう。</p> <p>(自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えることができる。)</p> <p>【誤答例】</p> <p>2 アの条件は満たしているが、イの条件を満たしていない (13.1%)</p> <p>3 イの条件は満たしているが、アの条件を満たしていない (5.1%)</p> <p>上記以外の解答 (15.2%) , 無解答 (8.9%)</p>	正答率 57.7%
--	-----------

## 2 正答率が低い要因

- (1) 内容を「説明」と「感想」とに分けて書くことができていないと考えられます。
- (2) 文字数、2段落構成などの与えられた条件に応じて書くことが十分でないと考えられます。
- (3) 13.1% (H17:12.5%) の児童が「二つの段落に分けて書くこと」ができていません。「段落」の意味を十分に理解していないことが、大きな要因と考えられます。「段落」を変えるときは改行するということは理解していても、どのような場合に「段落」を変えるのかの理解が不十分であるために、句点ごとに改行してしまったり、段落のない文章になってしまったりするのではないかと考えられます。

## 3 指導法改善のヒント

- (1) 国語をはじめ、各教科等の学習指導において、自分の考えをノートに書く場面を多く設定することが有効です。その際、自分の考えを明らかにさせるために、書く視点を具体的に示したり、考えの根拠となる言葉にサイドラインを引かせる活動を取り入れたりすることが大切です。
- (2) 「読むこと」との関連を図り、段落ごとの内容のまとめや段落相互の関係に気付かせたり、文章全体の組み立てをとらえさせたりして、「段落」について理解を確かなものにしましょう。その際、二つの段落を視写させて、その関係を考えさせる指導なども有効です。
- (3) 手本となる作品に触れる機会を多く設定しましょう。  
児童から「何を書いたらよいか分からない」「どのように書けばよいか分からない」という声がよく聞かれます。そこで、手本となる作品に触れさせることが大切になります。その際、音読を繰り返したり、視写させたり、部分的に表現を変えて書き方を模倣させたりすることなどが、書く力を身に付けさせることにつながります。
- (4) 様々な条件を提示し、伝えたい内容を記述する力を高めましょう。
  - ・「初読後の感想について、印象に残った場面を一つ目の段落に、その感想を二つ目の段落に書きましょう。」
  - ・「今日の学習で心に残ったことと、その理由を、2段落構成で書きましょう」
  - ・「〇〇で一番思い出に残っていることを、出来事と感想の2段落構成で書きましょう」
- (5) 字数指定にあたっては、教師自身が児童の立場になって、事前に書いてみるのが大切です。その字数指定でよいかどうかを十分に吟味しておくことで、指導を円滑に進めることができます。
- (6) 書かせた作品を添削・指導し、書き直しをさせましょう。  
添削及び指導に当たっては多くを指摘するのではなく、指導のポイントを明確にし、「段落」なら「段落」、「字数」なら「字数」に絞って書き直しをさせましょう。ポイントを絞った方が、書き方の技能の定着が図られます。
- (7) 家庭学習でも、様々な条件での日記（「自由・テーマ」日記、字数制限日記、2段落日記、描写日記、説明日記等）を書かせ、楽しみながら書く活動に取り組みせましょう。

## 3 読むこと

段落の相互関係に着目しながら読み取らせましょう。

### 1 問題の概要

5	(1) 「ネズミで調べたこととありますが、この文章には、二つの実験のことが書かれています。二つ目の実験の内容が書かれているのは、どの段落からですか。段落の番号を書きましょう。」（書かれている内容について、事象と意見の関係を押さえながら読むことができる。） 【誤答例】 1段落 (2.4%)、2段落 (16.0%)、3段落 (11.0%)、4段落 (12.6%)、6段落 (6.3%)、7段落 (1.5%)、上記以外の解答 (0.5%)、無解答 (4.9%)	正答率 44.8%
---	--	-----------

## 2 正答率が低い要因

- (1) 誤答の中で一番多い2段落を選んだ児童は、「しかけ」の説明を「実験」の一つと読み違えたものと考えられます。次に多い4段落を選んだ児童は、一つ目の「実験内容」とその「結果」で段落を分けたためと考えられます。「しかけ」「実験」「実験結果」等の段落相互の関係を全体的にとらえて読むことができていないと考えられます。
- (2) 児童が解答として選択したのは、7段落すべてにわたっています。複数の形式段落のまとまりをさらに大きな意味段落としてとらえることができていないと考えられます。

## 3 指導法改善のヒント

- (1) 文章構成（はじめ＝「話題，問題提示」，なか＝「事例，説明」，おわり＝「まとめ，主張」の三段落構成など）を意識して，大きなくりで読むようにさせましょう。
- (2) 単元の導入段階，内容精査の段階，単元のまとめの各段階で，「事実」「例」「意見」などの段落のまとまりや働きを絶えず確認し，意識付けながら読み取らせましょう。
  - ・第○段落で問題提起されたことの結論は，どの段落に示されていますか。
  - ・第○段落で，筆者は「・・・」と述べていますが，その理由が述べられているのはどの段落ですか。
  - ・○○について書いてあるのは，どの段落からどの段落までですか。
  - ・「しかし」「なぜなら」「ところで」などの接続語に注意して，この文章を，意味のまとまりごとに三つに分けてみましょう。また，どうしてそのように分けたのか，理由を簡潔に書いてみましょう。
- (3) 「この文章は○段落で分けられます。それはなぜですか。文章の言葉を使って説明しなさい。」など，叙述に着目して考えさせる発問を工夫しましょう。

<b>4 言語事項</b>	ローマ字に書き慣れさせましょう。
---------------	------------------

### 1 問題の概要

3	(9) 「すみれ」という言葉を，ローマ字で書きましょう。 【誤答例】 2 sumile (2.0%) 3 samire等，「2」以外のスペルミスが1箇所だけあった場合 (7.9%) 上記以外の解答 (12.9%) ，無解答 (19.1%)	正答率 58.2%
---	---	-----------

## 2 正答率が低い要因

「ローマ字の書き」については，これまでの類似問題と比較すると，「たぬき」(55.2%) 「ほたる」(53.3%) ，「すみれ」(58.2%) など，正答率が50%台を推移しています。本年度も無解答の児童が19.1%，スペルミス（一箇所）以外のミスをした児童が12.9%などの実態をみると，学習したローマ字を活用する機会が少ないことが考えられます。

## 3 指導法改善のヒント

ローマ字は，「子音字＋母音字」で表記されること，ラ行は「l」ではなく「r」で表記することなど，文字表記の仕組みを一層理解させるとともに，促音，撥音，拗音，長音などの表記の仕方も身に付けることができるよう工夫しましょう。

- ・日常の漢字テストの中に「ローマ字の書き取り」を1問加えたり，教室の掲示物や諸表示をローマ字でも表記したりして，児童がローマ字に接する機会を増やしましょう。
- ・身の回りの物や動植物など簡単な単語について，折に触れて「ローマ字」を読んだり書いたりする機会を設定しましょう。

平成18年度宮城県学習状況調査 小学校5年 国語

No	問題番号		領域	問題の内容	出題のねらい	
1	1	(1)	①話すこと・聞くこと	①聞き取り	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	
2		(2)			話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	
3		(3)			話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	
4	2	(1)	④言語事項	②漢字の読み	第4学年配当漢字を読むことができる。	
5					②	第4学年配当漢字を読むことができる。
6					③	第4学年配当漢字を読むことができる。
7		(2)		③漢字の書き	①	第4学年配当漢字を書くことができる。
8					②	第4学年配当漢字を書くことができる。
9					③	第4学年配当漢字を書くことができる。
10	3	(1)	④言語事項	④辞典の使い方	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。	
11		(2)			理解するために必要な文字について、辞書を利用して調べることができる。	
12		(3)		⑤語句	文脈に沿って、漢字を適切に使うことができる。	
13		(4)			さまざまな語句を用いて表現することができる。	
14		(5)			さまざまな語句を用いて表現することができる。	
15		(6)		⑥文の組み立て	文の構成について理解することができる。	
16		(7)			文の構成について理解することができる。	
17		(8)		⑦ローマ字の読み、書き	簡単な単語についてローマ字で表記されたものを読むことができる。	
18		(9)			簡単な単語についてローマ字で書くことができる。	
19	4	(1)	③読むこと	⑧文学的な文章(物語)	叙述を基に場面の移り変わりを想像しながら読むことができる。	
20		(2)			心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	
21		(3)			心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	
22		(4)			心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	
23		(5)			心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	
24	5	(1)	③読むこと	⑨説明的な文章(説明文)	書かれている内容について、事象と意見の関係を押さえながら読むことができる。	
25		(2)			目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	
26		(3)			目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	
27		(4)			目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	
28		(5)			文章の内容を的確に押さえながら、要旨をとらえることができる。	
29	6	(1)	②書くこと	⑩作文	書く必要のある事柄を選択することができる。	
30		(2)			①	自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えることができる。
31					②	事象と感想を区別し、書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意し、相手や目的に応じて適切に書くことができる。

平成18年度宮城県学習状況調査 小学校5年 国語

No	期待正答率	4県正答率	県正答率	誤答率	無答率	市町村正答率分布	主な観点	正答
1	70	97.0	<b>97.4</b>	2.4	0.2	93.8 ~ 100.0	話・聞	1
2	70	81.1	<b>81.7</b>	18.0	0.4	60.0 ~ 85.5	話・聞	4
3	60	55.3	<b>55.5</b>	44.0	0.5	45.8 ~ 70.0	話・聞	3
4	80	97.8	<b>97.9</b>	1.3	0.7	95.1 ~ 100.0	言語	べんり
5	80	96.4	<b>97.5</b>	1.6	1.0	93.3 ~ 100.0	言語	かがみ
6	60	77.7	<b>79.5</b>	16.0	4.5	50.0 ~ 93.1	言語	おさ
7	90	71.0	<b>69.1</b>	20.2	10.7	46.7 ~ 83.7	言語	結果
8	70	83.5	<b>81.8</b>	8.9	9.4	65.5 ~ 87.3	言語	種
9	70	83.7	<b>82.4</b>	14.1	3.6	63.9 ~ 90.1	言語	冷たい
10	60	69.8	<b>69.3</b>	30.3	0.5	40.0 ~ 86.2	言語	2
11	80	60.7	<b>63.0</b>	24.8	12.2	30.0 ~ 71.4	言語	ア…きへん(木)、イ…九(9) (完答)
12	70	74.1	<b>70.7</b>	28.7	0.6	62.6 ~ 90.0	言語	3
13	80	96.7	<b>97.0</b>	2.7	0.3	93.6 ~ 100.0	言語	4
14	80	89.3	<b>88.7</b>	4.7	6.6	76.3 ~ 94.7	言語	同
15	80	68.0	<b>72.3</b>	26.1	1.6	53.2 ~ 90.0	言語	日かげで 休んでいる 人が 父です。
16	70	71.8	<b>70.7</b>	28.2	1.1	50.0 ~ 87.2	言語	3
17	70	60.7	<b>61.1</b>	19.5	19.4	30.0 ~ 75.5	言語	きつぷ
18	70	57.1	<b>58.2</b>	22.7	19.1	39.2 ~ 70.7	言語	sumire
19	60	31.7	<b>32.3</b>	44.5	23.2	10.0 ~ 57.4	読む能力	気がついた
20	70	90.6	<b>90.8</b>	8.4	0.8	80.0 ~ 96.2	読む能力	3
21	70	76.8	<b>76.5</b>	22.4	1.0	64.0 ~ 86.2	読む能力	1
22	70	87.2	<b>87.9</b>	10.9	1.2	77.7 ~ 92.4	読む能力	4
23	60	49.8	<b>51.1</b>	46.6	2.2	30.0 ~ 60.0	読む能力	2
24	60	45.1	<b>44.8</b>	50.3	4.9	27.8 ~ 60.6	読む能力	5
25	90	58.3	<b>56.8</b>	41.1	2.0	39.1 ~ 65.6	読む能力	4
26	70	48.8	<b>48.0</b>	28.8	23.2	30.7 ~ 69.1	読む能力	(例)暗くなると活発になった。<12字>
27	70	81.5	<b>82.5</b>	15.4	2.1	74.1 ~ 92.6	読む能力	2
28	60	48.3	<b>47.8</b>	48.9	3.3	36.9 ~ 54.2	読む能力	1
29	90	91.7	<b>94.2</b>	1.9	3.9	82.0 ~ 100.0	書く能力	紹介する「係や委員の名前」を書く <解答例:しいく係>
30	70	56.6	<b>57.7</b>	33.4	8.9	24.6 ~ 78.7	書く能力	(7行~9行=121字~180字以内で書く) (2段落構成で書く)
31	60	69.0	<b>67.9</b>	23.1	9.0	45.8 ~ 83.0	書く能力	(第1段落に「係や委員の仕事がどのようなものなのか」を書く) (第2段落に「その仕事に対する感想」を書く) <解答例> しいく係の仕事は、教室でかっているめだかの世話です。具体的には、毎日、えさをやったり、水そうをあらったりしています。 水そうをあらうのは、とてもたいへんです。でも、この前、たまごが無事にかえったときは、とてもうれしかったです。毎日、苦労して世話をしたかいがあったと思いました。